

(第 28 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 5 年 10 月～12 月期)

今回の景況感調査では、依然として人手不足等の課題があるものの、前回に引き続き改善傾向にあると回答した事業者が多く見受けられた。

はじめに今期の景況の水準について見てみると、「普通」、「悪い」との回答が減少し、「良い」との回答が増加した。「良い」との回答が「悪い」の回答を上回ったのは 2018 年の調査以来 5 年ぶりであった。

次に実働率と実車率を見てみると、どちらの項目も「やや低下」との回答が減少し、「やや上昇」との回答が増加していた。「全体的に（荷動きが）戻ってきている」との声や「インバウンド消費の復調や単価交渉の効果により好調」との声があり、荷動きが活発であることが伺えた。しかしながら、「業界としては配達商品が溢れている状況だが、人手不足による売上減がある」との声もあり、ドライバー不足は「やや不足」「不足」を合わせると 7 割を超えている等、深刻な状況が続いている。人材不足問題解消に向け、荷待ち時間の解消やドライバーの労働環境の改善による生産性の向上や標準運賃の収受が不可欠である。

運賃・料金の水準について見てみると、「横ばい」や「低下」との回答が減少し、「やや上昇」との回答が増えており、運賃・料金の水準については少しずつではあるが、好転しているようであった。

次に営業利益を見てみると、前回の調査では「増加」との回答が多かったものの、今回の調査では「変わらない」との回答が増加した。荷動きが活発化し、売上が安定している事業者が多くなっているものの、人材不足問題や燃料価格の高騰、最低賃金の見直しの影響等により、利益率を上げることが難しくなっている状況が見受けられた。

最後に荷待ち時間の削減や労働環境改善のための対策についてアンケートを取ったところ、荷待ち時間を削減するうえでの対策については、「バース管理システムの導入」や「予約システムの活用による時差入場の実施」、「現状を正直に伝える」等の回答があった。また、「荷待ち時間については着荷主次第なのでどうしようもない」等の声もあり、直荷主との交渉だけでは荷待ち時間を削減することは難しい様子であった。労働環境改善のための対策については、「バラ貨物のパレット化とパワーゲート車の導入」や「リードタイムの延長のお願いを行う」等の回答があった。

今回の景況感調査では全体的に改善傾向にあり、荷動き等についてもコロナ禍前の状況に戻りつつある等、回復傾向が伺える事業者が多かったが、ドライバー不足、燃油価格の高止まり、そして 4 月に迫った「物流の 2024 年問題」等、先行きが見えず、予断の許さない状況が続いている。

令和 6 年 2 月 1 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第28回）

令和5年10月～12月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	9 社	20.0%	51～100人	2 社	4.4%
11～20人	12 社	26.7%	101～300人	2 社	4.4%
21～30人	8 社	17.8%	301人～	1 社	2.2%
31～50人	11 社	24.4%	未回答	0 社	0.0%

2. 女性ドライバー数

45 社中 11 社 平均人数 4.2 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	7 社	15.6%	51～100両	4 社	8.9%
11～20両	13 社	28.9%	101～300両	1 社	2.2%
21～30両	8 社	17.8%	301両～	2 社	4.4%
31～50両	10 社	22.2%	未回答	0 社	0.0%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0 社	0 社	0 社
2. 生鮮食品	1 社	0 社	0 社
3. 加工食品	1 社	2 社	1 社
4. 飲料・酒	4 社	1 社	1 社
5. 原木・材木等の林産品	1 社	0 社	0 社
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	0 社	1 社	1 社
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	3 社	1 社	0 社
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	5 社	7 社	1 社
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0 社	1 社	1 社
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1 社	0 社	2 社
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0 社	1 社	0 社
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	2 社	0 社	0 社
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	2 社	3 社	2 社
14. 医療品	0 社	2 社	1 社
15. その他の化学製品	4 社	0 社	2 社
16. 紙・パルプ・印刷物	6 社	2 社	3 社
17. 糸・反物等の繊維素材	1 社	0 社	0 社
18. 衣類・布団等の繊維製品	0 社	1 社	0 社
19. 日用品	2 社	1 社	6 社
20. 引越荷物	0 社	0 社	0 社
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品	1 社	4 社	3 社
22. 機械ユニット・半製品	1 社	1 社	3 社
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	1 社	4 社	2 社
24. 家電・民生用機械	3 社	0 社	0 社
25. 完成自動車・オートバイ	0 社	0 社	0 社
26. 再生資源・スクラップ	0 社	0 社	0 社
27. 廃棄物	1 社	0 社	0 社
28. 宅配便・特積貨物	0 社	0 社	1 社
29. 空容器・返送資材	0 社	1 社	2 社
30. その他	3 社	3 社	7 社
31. 未回答	2 社	9 社	29 社

ドライバー人数	社数	割合
1～10人	9	20.0
11～20人	12	26.7
21～30人	8	17.8
31～50人	11	24.4
51～100人	2	4.4
101～300人	2	4.4
301以上	1	2.2
未回答	0	0.0

女性ドライバー	
人数	46
社数	11
割合	24.4
平均人数	4.2

保有台数	社数	割合
1. 1～10台	7	15.6
2. 11～20台	13	28.9
3. 21～30台	8	17.8
4. 31～50台	10	22.2
5. 51～100台	4	8.9
6. 101～300台	1	2.2
7. 301台以上	2	4.4
0. 未回答	0	0

事業内容	
特積み宅配	0
特積み宅配以外	0
一般	45
未回答	0

取り扱い品目	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0	0	0
2. 生鮮食品	1	0	0
3. 加工食品	1	2	1
4. 飲料・酒	4	1	2
5. 原木・材木等の林産品	1	0	1
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	0	1	2
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	3	1	0
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	5	7	0
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0	1	0
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1	0	0
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0	1	0
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	2	0	0
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	2	3	0
14. 医療品	0	2	1
15. その他の化学製品	4	0	3
16. 紙・パルプ・印刷物	6	2	0
17. 糸・反物等の繊維素材	1	0	0
18. 衣類・布団等の繊維製品	0	1	1
19. 日用品	2	1	5
20. 引越荷物	0	0	1
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加	1	4	4
22. 機械ユニット・半製品	1	1	1
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	1	4	2
24. 家電・民生用機械	3	0	0
25. 完成自動車・オートバイ	0	0	0
26. 再生資源・スクラップ	0	0	0
27. 廃棄物	1	0	0
28. 宅配便・特積貨物	0	0	1
29. 空容器・返回送資材	0	1	0
30. その他	3	3	3
31. 未回答	2	9	17
合計	45	45	45

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和5年10月～12月期)

※215社中45社回答

実働率	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答						
前年同期比	0	0.0%	15	33.3%	22	48.9%	8	17.8%	0	0.0%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	14	31.1%	24	53.3%	7	15.6%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	9	20.0%	20	44.4%	15	33.3%	1	2.2%	0	0.0%

実車率	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答						
前年同期比	0	0.0%	14	31.1%	23	51.1%	8	17.8%	0	0.0%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	15	33.3%	21	46.7%	9	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	8	17.8%	20	44.4%	16	35.6%	1	2.2%	0	0.0%

ドライバーの過不足	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答						
今期の状況	4	8.9%	29	64.4%	11	24.4%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	6	13.3%	30	66.7%	8	17.8%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
ドライバーの採用状況	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答						
前年同期比	0	0.0%	6	13.3%	34	75.6%	3	6.7%	2	4.4%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	9	20.0%	31	68.9%	3	6.7%	2	4.4%	0	0.0%
先行き	1	2.2%	6	13.3%	28	62.2%	7	15.6%	3	6.7%	0	0.0%

ドライバー以外の過不足	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答						
今期の状況	5	11.1%	17	37.8%	23	51.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	6	13.3%	18	40.0%	20	44.4%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
ドライバー以外の採用状況	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答						
前年同期比	0	0.0%	5	11.1%	37	82.2%	1	2.2%	2	4.4%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	4	8.9%	38	84.4%	1	2.2%	2	4.4%	0	0.0%
先行き	1	2.2%	5	11.1%	32	71.1%	3	6.7%	4	8.9%	0	0.0%

所定外労働時間 (休日労働を含む)	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答						
前年同期比	0	0.0%	9	20.0%	27	60.0%	9	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
前期比	1	2.2%	7	15.6%	29	64.4%	8	17.8%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	1	2.2%	3	6.7%	28	62.2%	12	26.7%	1	2.2%	0	0.0%

貨物の再委託の割合	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答						
前年同期比	0	0.0%	6	13.3%	26	57.8%	8	17.8%	0	0.0%	5	11.1%
前期比	1	2.2%	9	20.0%	25	55.6%	5	11.1%	0	0.0%	5	11.1%
先行き	0	0.0%	8	17.8%	24	53.3%	7	15.6%	1	2.2%	5	11.1%

経常損益	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答						
前年同期比	0	0.0%	14	31.1%	21	46.7%	9	20.0%	1	2.2%	0	0.0%
前期比	1	2.2%	16	35.6%	16	35.6%	11	24.4%	1	2.2%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	12	26.7%	17	37.8%	15	33.3%	1	2.2%	0	0.0%

業界の景況感	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	10 22.2%	21 46.7%	13 28.9%	1 2.2%	0 0.0%
前期比	0 0.0%	11 24.4%	20 44.4%	13 28.9%	1 2.2%	0 0.0%
先行き	0 0.0%	13 28.9%	15 33.3%	15 33.3%	2 4.4%	0 0.0%

今期の水準	1.良い	2.ふつう	3.悪い	4.未回答
	14 31.1%	21 46.7%	10 22.2%	0 0.0%

輸送数量全体	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 2.2%	12 26.7%	21 46.7%	7 15.6%	1 2.2%	3 6.7%
前期比	0 0.0%	13 28.9%	19 42.2%	9 20.0%	1 2.2%	3 6.7%
先行き	0 0.0%	8 17.8%	21 46.7%	11 24.4%	2 4.4%	3 6.7%

取扱い1位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 2.2%	11 24.4%	21 46.7%	9 20.0%	1 2.2%	2 4.4%
前期比	0 0.0%	9 20.0%	27 60.0%	6 13.3%	1 2.2%	2 4.4%
先行き	1 2.2%	5 11.1%	23 51.1%	13 28.9%	1 2.2%	2 4.4%

取扱い2位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	2 4.4%	7 15.6%	20 44.4%	7 15.6%	0 0.0%	9 20.0%
前期比	1 2.2%	6 13.3%	23 51.1%	5 11.1%	1 2.2%	9 20.0%
先行き	1 2.2%	3 6.7%	22 48.9%	8 17.8%	2 4.4%	9 20.0%

取扱い3位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 2.2%	4 8.9%	15 33.3%	7 15.6%	1 2.2%	17 37.8%
前期比	0 0.0%	2 4.4%	18 40.0%	7 15.6%	1 2.2%	17 37.8%
先行き	0 0.0%	1 2.2%	18 40.0%	6 13.3%	3 6.7%	17 37.8%

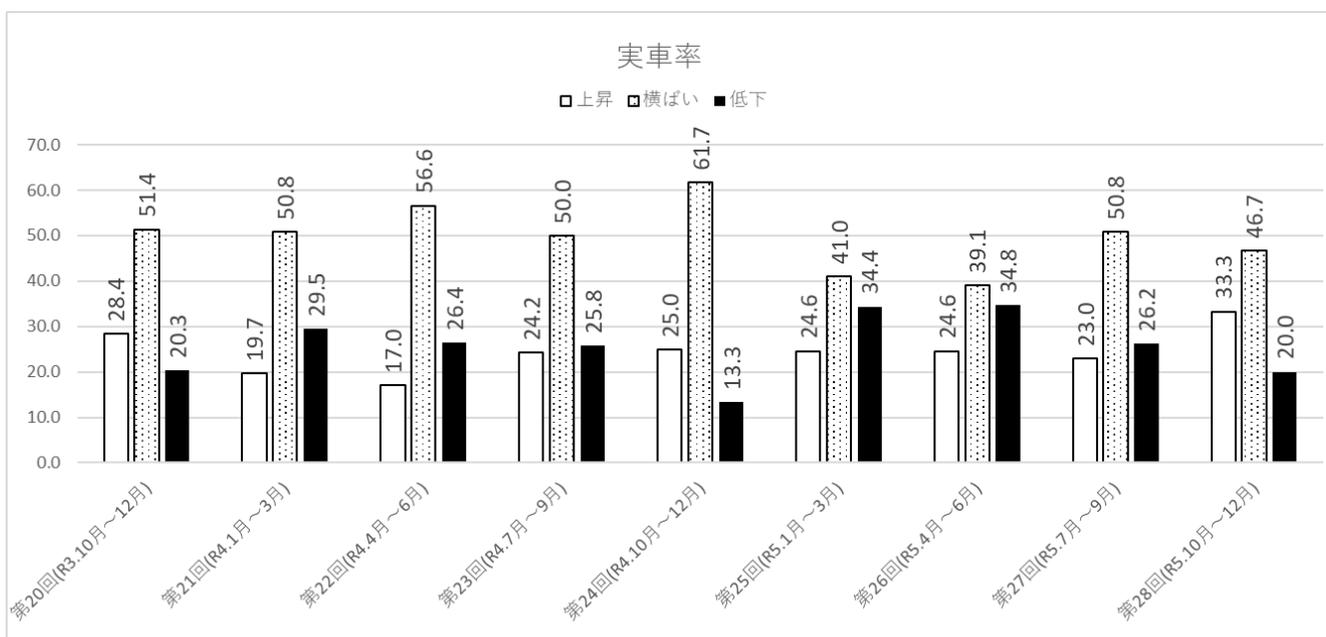
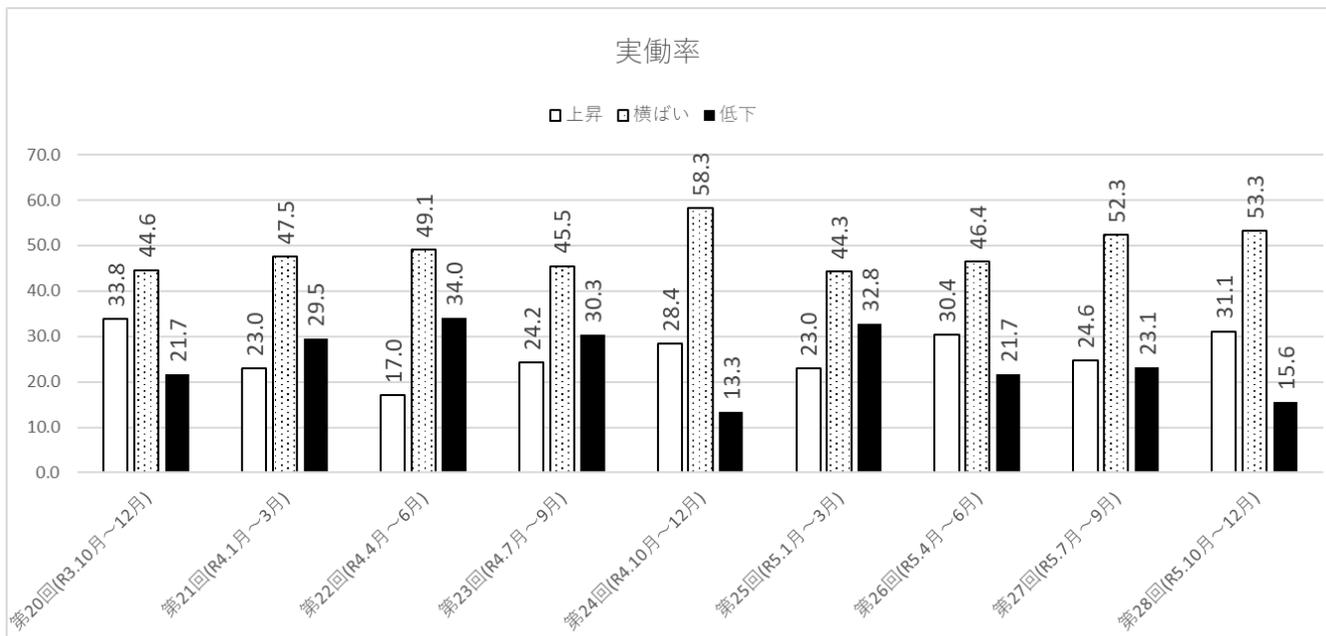
営業収入(売上高)	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	12 26.7%	17 37.8%	13 28.9%	1 2.2%	2 4.4%
前期比	0 0.0%	10 22.2%	21 46.7%	11 24.4%	1 2.2%	2 4.4%
先行き	0 0.0%	8 17.8%	18 40.0%	15 33.3%	2 4.4%	2 4.4%

営業利益	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	12 26.7%	17 37.8%	13 28.9%	1 2.2%	2 4.4%
前期比	1 2.2%	9 20.0%	20 44.4%	10 22.2%	3 6.7%	2 4.4%
先行き	0 0.0%	9 20.0%	18 40.0%	13 28.9%	3 6.7%	2 4.4%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	1 2.2%	10 22.2%	31 68.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.7%
前期比	0 0.0%	12 26.7%	30 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.7%
先行き	2 4.4%	12 26.7%	28 62.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.7%

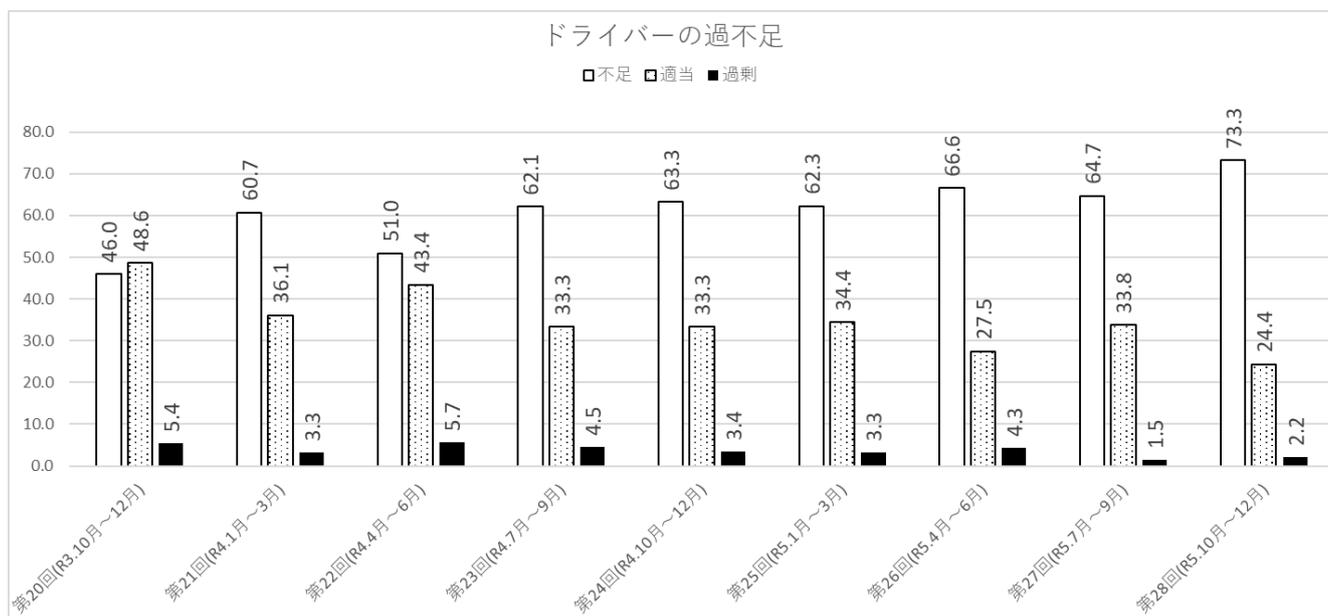
○実働率・実車率

実働率の前期比について、「上昇」が6.5 ㊦増加し、「低下」は7.5 ㊦減少した。実車率については「上昇」が10.3 ㊦増加し、「低下」は6.2 ㊦減少しており、多くの事業者で荷動きが活発化した。



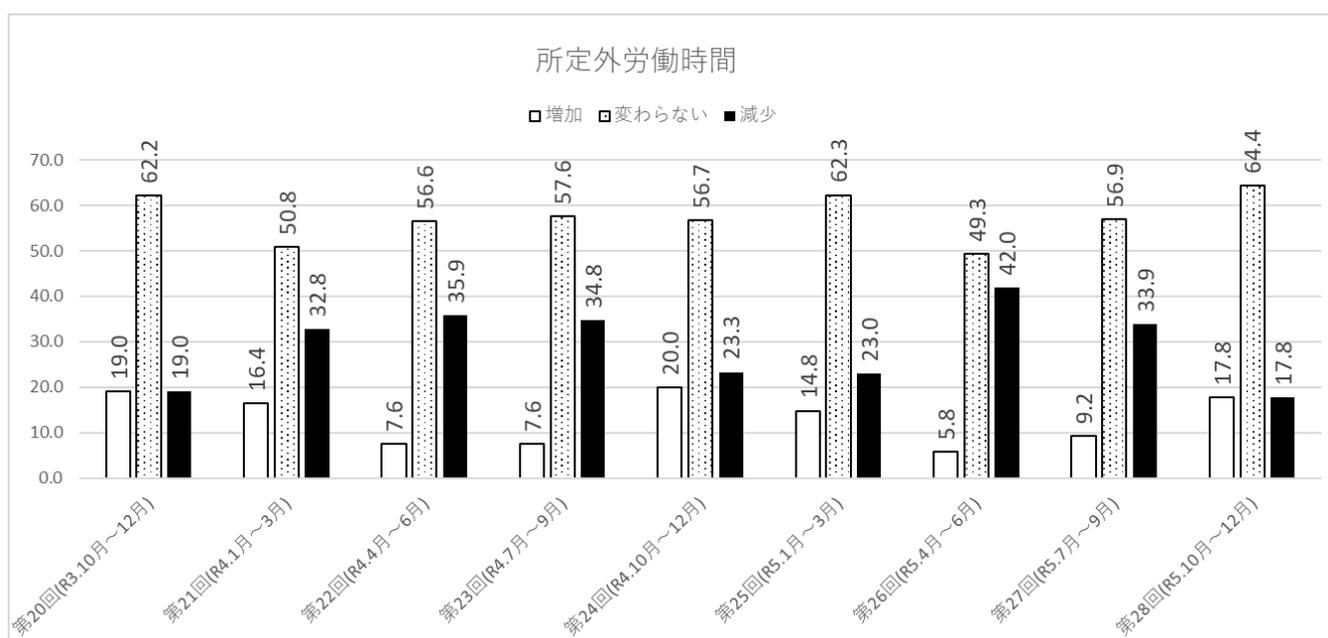
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について「不足」との回答が8.6 ㊦増加し、7 割以上の事業者がドライバー不足と感じている。荷動きの活性化によりドライバー不足の厳しい状況が続いている。



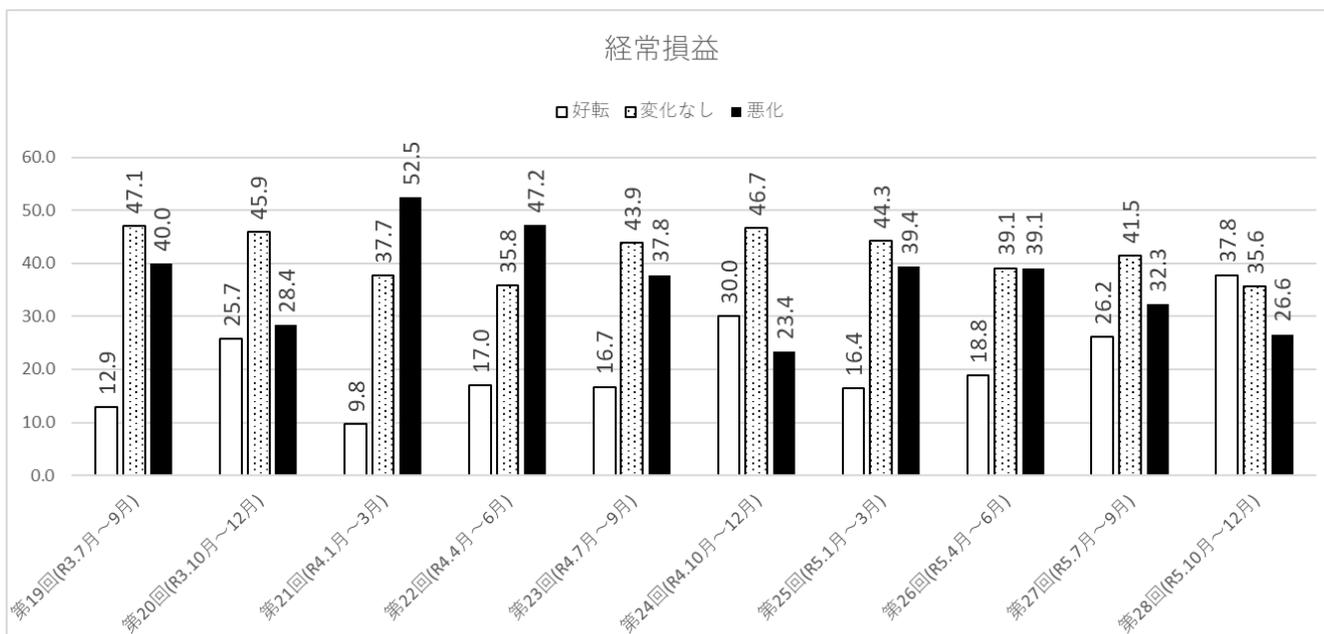
○所定外労働時間

所定外労働時間について、「増加」が8.6 ㊦増え、「減少」が16.1 ㊦減っていた。荷動きの増加により一人当たりの労働時間が増えているようであった。



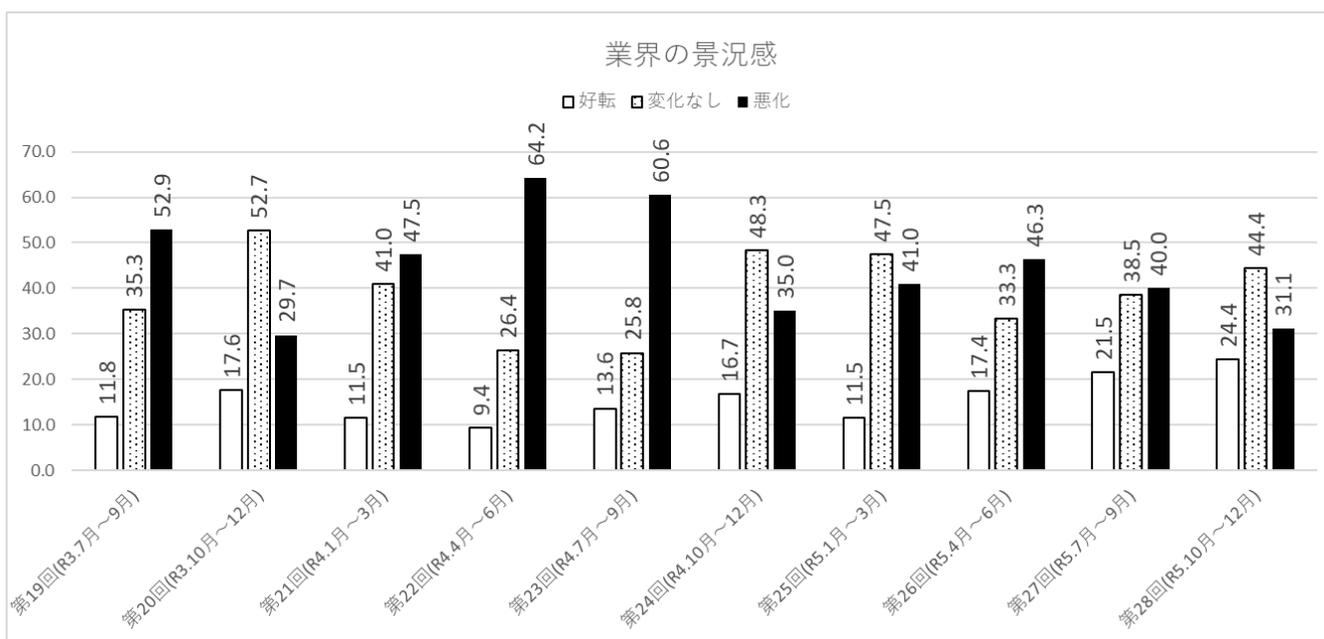
○経常損益

経常損益について、「好転」との回答が11.6 ㊦増加しており、「悪化」は5.7 ㊦微減した。第25回の調査から堅調に好転が進んでおり、コロナ禍前の水準まで復調している。



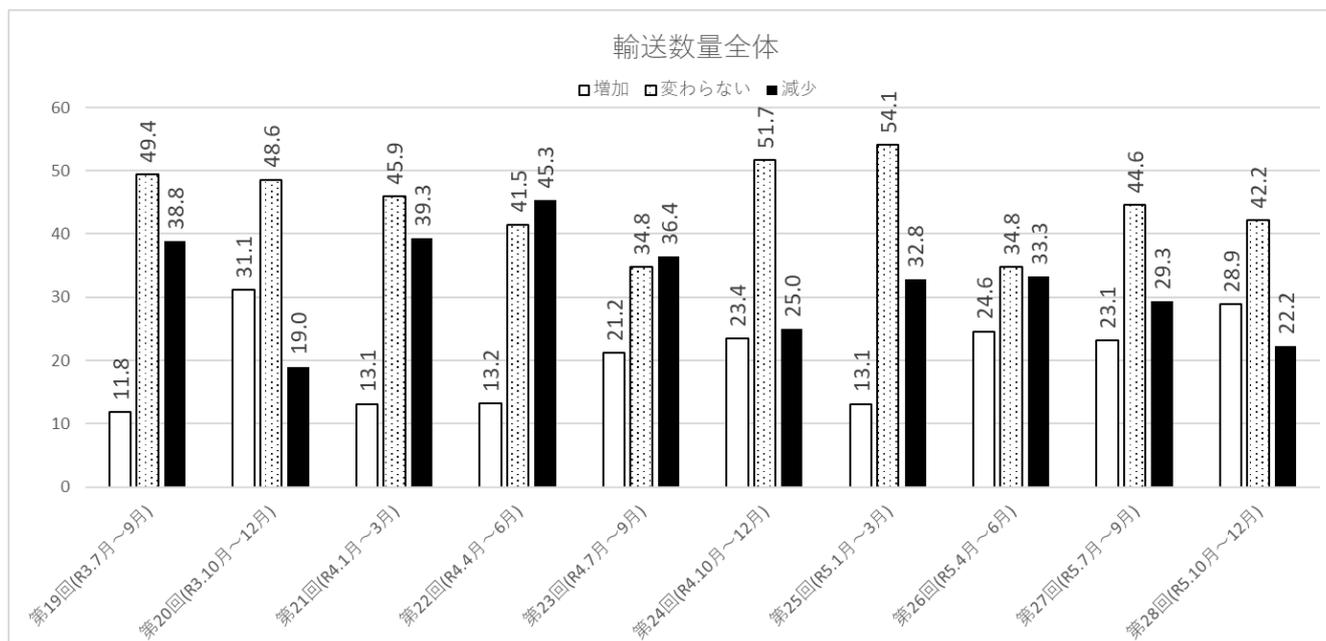
○業界の景況感

業界の景況感について、「好転」が2.9 ㊦微増しており、「悪化」は8.9 ㊦減少している。依然として悪化との回答が多いものの減少傾向で、「好転」と回答した事業者は増加しており、徐々に回復傾向が見受けられた。



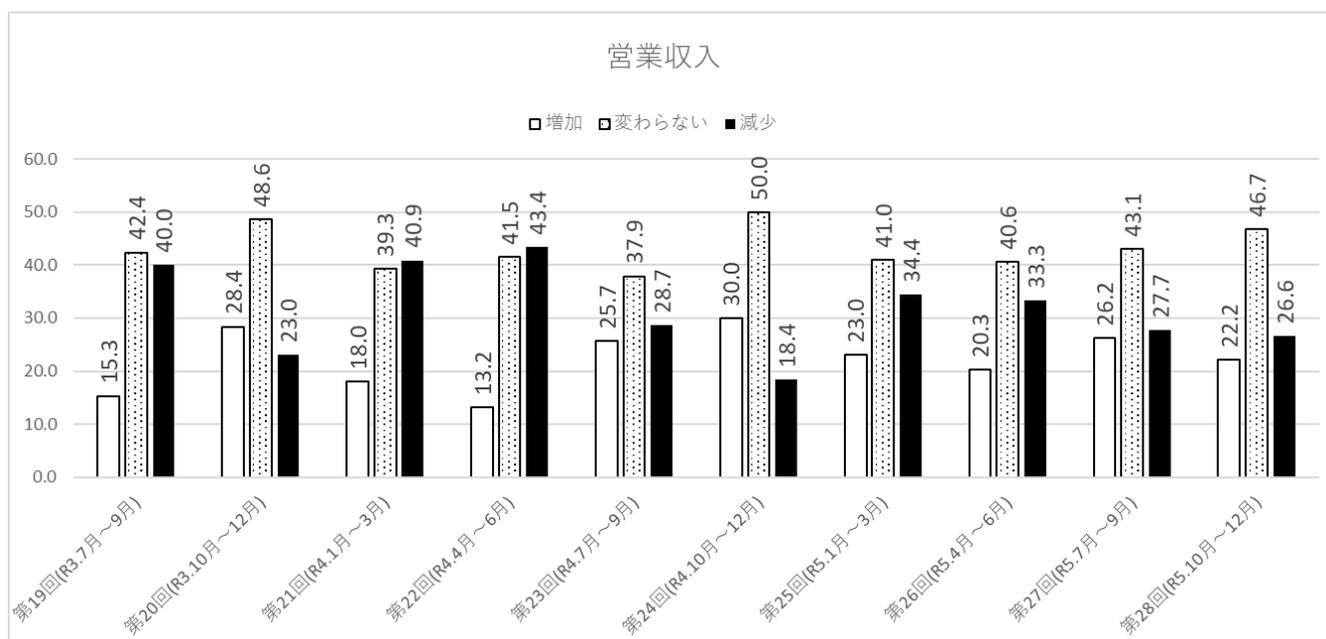
○輸送数量

輸送数量について、「増加」との回答が 5.8 ㊦増え、「減少」との回答が 7.1 ㊦減っており、輸送数量の項目において「増加」が「減少」を上回った。



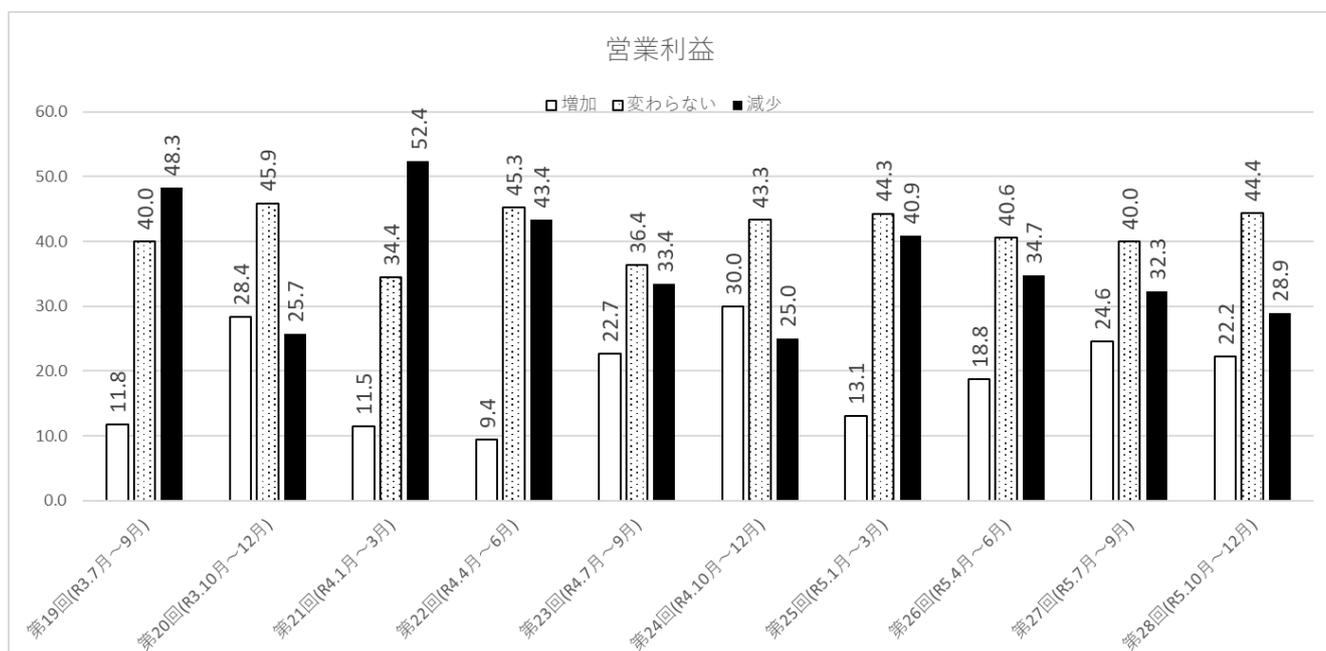
○営業収入

営業収入について、「増加」が 4.0 ㊦微減し、「変わらない」が 3.6 ㊦微増していた、荷動きが活発化してきているものの売上が上昇していない状況が見受けられた。



○営業利益

営業利益について「増加」が2.4 ㊦微減し、「変わらない」が4.4 ㊦微増しており、営業収入同様、荷動きが活発化してきたにもかかわらず、営業利益が改善されている事業者は少なく、引き続き注視が必要である。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準について、「上昇」との回答が9.8 ㊦増加し、「横ばい」との回答が8.7 ㊦減少している。荷主との運賃交渉が進んだ事業者が増えたことに伴い、運賃・料金の水準も上昇傾向にあったように見受けられた。

